

存在が未来—超高齢社会に育つ子どもたち

日沼 千尋（東京女子医科大学看護学部）

「子どもは未来である」といったのは、我が国の小児保健に偉大な貢献をした小児科医小林登氏である。存在そのものが未来である子どもを考えるにあたり、会長講演では、社会における「子ども」の多様な視点からのとらえ方とその変遷を一通り振り返ってみた。私は、「子ども」ということばには大きく分けて二つの意味があると考えている。一つは生まれたときからの時間、すなわち年齢で区切られた存在としての「子ども」。もう一つは「おとな」に対する「子ども」。すなわち関係性としての「親」に対する「子ども」、あるいは「社会」の中の「子ども」。この関係性で考えると、人間はどんなに高齢でも、どんなに孤高に生きていても、必ず「誰かの子ども」であるということに気づく。

一方で、子どもは社会的には弱者であり、守られるべき存在と認識されており、子どもの権利条約批准以降は権利の主体者としても認められつつある。また、子どもは育つ過程において、「社会化」として社会に望ましい人間として期待され、社会や環境との相互作用の中で育つ。いつの時代にも、子どもは社会の影響を強く受ける。

従来、看護学ではエリクソンの自我発達理論やピアジェの認知発達理論など多くの発達理論を活用して、子どもを含む人の発達について学んできた。これらの理論は、発達の段階をいくつかに分け、その過程は概ね生活年齢に沿って説明されている。私は子どもが育つ社会環境のインパクトを変数として、子どもの発達や社会化を丁寧分析するライフコース理論に注目している。この理論を提唱したのは、グレン H. エルダーであり、1929 年に始まる大恐慌時代に育つ子どもたちの社会化に注目した「大恐慌の子どもたち」という研究がある。

太平洋戦争を経験した子どもたち、東日本大震災という未曾有の大災害を生き抜いた子どもたち、人類が経験したことがないというスピードで進む超少子高齢社会に育つ子どもたち、この社会の変動の中で子どもたちの発達、社会化はどのような特徴を示すのであろうか。重要な研究テーマであり、私たちに突き付けられている課題と考える。

存在が未来 超高齢社会に育つ子どもたち

東京女子医科大学看護学部
日沼千尋

子宝ということば—親(おとな)にとっての子ども

イエスス会宣教師
ルイス・ロイス(ポルトガル)
(千五百年頃)

「われわれの間では普通鞭で打って息子を懲罰する。日本ではそういうことは滅多におこなわれぬ、ただ言葉によつて叱責するだけだ。」

白銀も小金も玉も
なにせむに
まされる宝
子にしかめやも
山上億良
(万葉集)

社会の中の子ども—子ども観の変遷

17世紀までのヨーロッパ:
子どもは独自の存在ではなく
子どもを知識や経験のない「小さな大人」として捉える

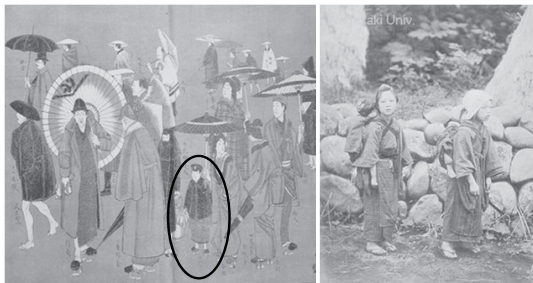


社会の中の子ども—子ども観の変遷

・18世紀-19世紀
ルソー、ペスタロッチ、フレーベル、オーエン

子どもを固有の存在としてとらえる
子どもは小さな大人ではない
子どもの人格、能力を認め、社会の対応の必要性を説く
⇒ 現代の子ども観、子ども思想に大きな影響を与える

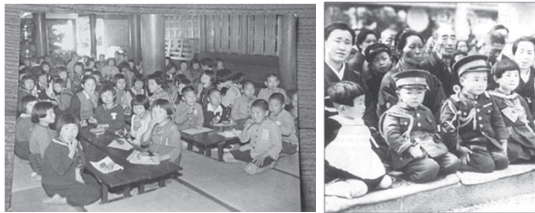
明治時代の子ども 家事労働の担い手



産業革命(18-19世紀)時代の子どもたち 安価な労働力



戦時中の子ども 将来の兵士



戦時中の医療保健専門家の役割

- 戦意高揚
- 産めよ増やせよ
- 銃後の守り

子どもとは—法的位置づけ

【児童福祉法】

第4条 この法律で、児童とは、満十八歳に満たない者をいい、児童を左のように分ける。

- 一 乳児 満一歳に満たない者
- 二 幼児 満一歳から、小学校就学の始期に達するまでの者
- 三 少年 小学校就学の始期から、満十八歳に達するまでの者

【民法】 第961条(遺言能力)

十五歳に達した者は、遺言をすることができる。

我が国の子どものための法律 児童憲章

• 昭和26年5月5日宣言

われらは、日本国憲法の精神にしたがい、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福をはかるために、この憲章を定める。

- 児童は、人として尊ばれる。
- 児童は、社会の一員として重んぜられる。
- 児童は、よい環境のなかで育てられる。

児童の権利に関する条約(1994年批准) 守られる存在から権利の主体へ

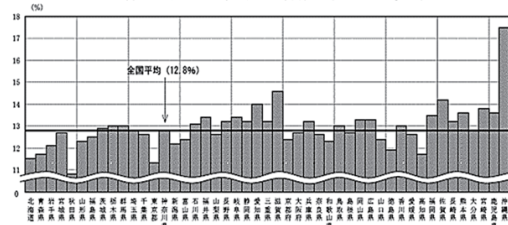
- 一般原則
 - A. (差別の禁止) B. (児童の最善の利益)
 - C. (生命、生存及び発達に対する権利)
 - D. (児童の意見の尊重)
- 市民的権利及び自由
- 家庭環境及び代替的な監護 ○基礎的な保健及び福祉
- 特別な保護措置

【国内法の整備】 児童虐待防止法、児童ポルノ禁止

【医療現場におけるインフォームド・アセントの推進】

都道府県別子どもの割合

図4 都道府県別子どもの割合 (平成26年10月1日現在)



小児医療の危機 小児科の減少

2012年厚労省調査

小児科がある施設数

1994年 約4000

2012年 2745

3割減!

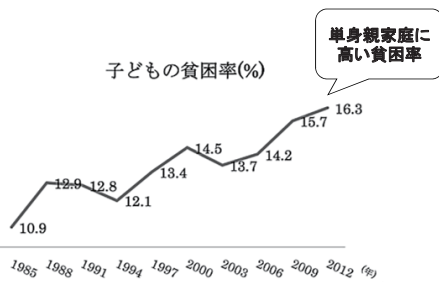
医師数は微増 BUT 勤務医の不足
厳しい労働環境

高度小児医療の行く末

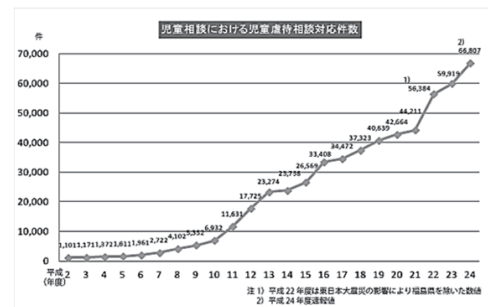
- 障害児の増加
 - 医療的ケアを要する子どもの増加
 - 病床数の減少-小児在宅医療のニーズ
- 子どもは呼吸器装着や医療的ケアが多い
子どもは成長・発達する
子どもは発達に伴い生活の場、生活が変わる
子どもは学校に行かねばならない
子どもは遊ばなければならない

子ども特有の在宅ケアシステムが必要

子どもの貧困率 子どもが少ないのに貧しい



増える虐待



様々な少子化対策

- 1990 合計特殊出生率 1.57ショック
- 1994 「エンゼルプラン」
「緊急保育対策等5か年計画」
- 1999 「新エンゼルプラン」
- 2000 「健やか親子21」策定
- 2010 「子ども子育てビジョン」
- 2012 「税と社会保障の一体改革」
「子ども・子育て関連3法」成立
- 2015 「子ども・子育て支援新制度」
施行



急速な少子化に対する 子育て世代の意識

- 20代~40代の男女対象 厚労省 2012

男性:「解決すべき問題だ」と答えた人

【若年独身】で5割弱

【継続独身】で5割

【若年無子家族】で6割であり、既婚者の方が重大視している。

女性:「解決すべき問題だ」と答えた人

【若年独身】と【若年無子家族】では半数

【継続独身】で4割強

小児看護を学んだ看護学生の子ども観

かわいい 守らなくてはならない 貴重な存在 弱い
 素直で純粹 こどもとのかかわりには配慮が必要
 大人を癒してくれる こどもには能力がある
 こどもは苦手・好きでない 目を離すと危ない
 こどもの病気は苦痛が大きい こどもは一人の人間である
 こどもは周囲の影響を受けやすい
 わがまま・よくわからない
 こどもとのかかわりは大変で難しい
 成長発達している 未来・希望・可能性がある
 自由である 親と子の絆は強い
 わかりやすい説明が必要

ハヴィガースト(R.J.Havighurst)の発達課題

発達課題の3つの源泉

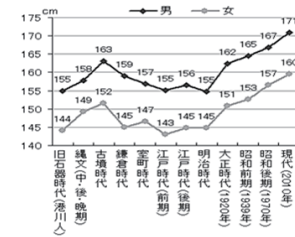
- ①身体成熟:歩行の学習・青年期における異性への関心。
- ②社会の文化的圧力:読みの学習・市民としての社会への参加の学習。
- ③個人的な動機や価値意識;職業の選択や準備・人生観の形成。

6つの発達段階(乳幼児期から老年期)

これらの発達課題を達成することにより、幸福な次の段階に進める

しかし... どの時代でも子どもは同じ成長・発達?

日本人の身長の変遷(その2)



栄養状態
生活環境に
よって、成長
は異なる

(注) 池川人(沖繩)を除き関東出土の人身による。ただし、大正時代以降は20歳計測データ(文科省・大学生、現代のみ厚労省・国民)
 (資料) 鈴木隆雄「日本人のからだ:健康・身体データ99集」朝倉、1996
 (現代のみ厚労省「国民健康・栄養調査」)

心理社会的発達への社会変動の影響 ライフコース理論

ライフコース・アプローチの特徴

- ①社会全体や家族を単位としたライフサイクルではなく、個人の軌跡に焦点をあてる。
- ②個々人の生涯の展開を歴史的な事件や時代の特性との関連で説明しようとする。
- ③個々人に関心を払いつつ、同時代人としての生き方の共通性(ライフコースパターン)を析出する。
- ④その人の出来事(出生、入学、結婚など)とそれに伴う役割への適応過程を軸とする。
- ⑤その人だけの体験や出来事との遭遇にも関心を寄せる解釈論的アプローチ

大恐慌の子どもたち



大恐慌による経済的はく奪を経験した子ども、家族それぞれの役割の獲得と放棄など適応の過程を、世代間比較、性別、地域、階層など多面的な視点から膨大な調査により明らかにした。

おわりに

戦争、大震災、急速で激しい少子高齢化などを体験した子どもたちの社会化、発達に焦点を当て、ライフコースアプローチの視点をもって子どもたちの育ちを研究することが課題。

個人的には
 少ない子どもたちを真に豊かに育てることを展望し、社会を整えていくことが大人の責任、と考える。